

2026

1

ナイル

現代短歌ナイル

ナイルキャンパス／五代目神田伯梅

芙貴子ワールド／松本芙貴子
偶然の糸を遊ぶ【19】

涼さんぽ／橋本涼
涼さんのにぎわいホビ～【9】

ショートショート【3】／鏡マリコ
松本豊子作品から

わたしのセレクト【11月号から】
小村井敏子 井村清美



NILE CAMPUS

319

伯梅閑話 — 表千家学生茶道研究会 —

小村井敏子（五代目神田伯梅）

表千家学生茶道研究会は、東京近辺の大学の表千家の茶道を学ぶ茶道部で構成されていた。その役員は、当時の表千家若宗匠（而妙斎じみようさい宗匠）との懇談や、年一回、若宗匠との会食があった。いつも中華料理だった。お立場上、和食ばかりの日々かと推測する。大勢の大学生と食べるなら、中華料理がいい。二年間役員をしたので、二回。一度は東京港区芝の留園、一度はホテルオークラの中華だった。表千家東京出張所での若宗匠との懇談の他、歴代の楽のお茶碗を手持たせていただいたのは、得難い経験だった。役員の以外のメンバーもいて、三浦半島での合宿があった。そんなところでお会った他の大学の仲間が伯龍の墓参りに来てくれたりした。今、時々、ラインしている。表千家学生茶道研究会の合宿で知り合った一人と私、今は亡くなった同じ大学の同期のもう一人を加えた三人で、道具を買い、お茶事の会を長く続けた。誰かを呼ぶことのない三人だけのお茶事だ。普通のお茶室（お茶をたてるための設備はあるが料理をする設備はない）を借りて、料理を持ち込んだのだった。お茶事は言ってみれば、抹茶の出る宴。お茶事にはお酒が出るものだが、お酒は抜きであったと思う。千鳥の盃をするための道具を用意できなかったのだと思う。お互いの事情もあって、お茶事は途絶えたが、友人関係は続いている。表千家学生茶道研究会関係の仲間で、美学研究会（だったと思う）なる集まりを作っていた。慶応大学の鈴木恒夫さんが中心で、千葉県市川市本八幡の彼の自宅などに集まった。何を話題にしたかすつかり忘れてるが、茶道関係のあれこれを勉強したのだと思う。つい先日（2025年秋）、NHK教育テレビ、茶道表千家の番組に出演した茶道史の学者、熊倉功夫の名前を知ったのはこの仲間からだった。熊倉氏の出していた茶道関係の雑誌を購読していたのを、なつかしく思う。この仲間で往復夜行宿泊なしの旅行で輪島塗の茶入れを買ったのだった。